



# アザレアネット通信

くるめ診療情報ネットワーク(愛称: アザレアネット)は120を超える医療機関に参加いただき、登録いただいた患者さんも7,000名を超えるなど、当初想定した目標(150医療機関・10,000名)に近づいてまいりました。参加医療機関の更なる増加につきまして、引き続き皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

今号では、協議会設立から3年を経過したことから「アザレアネット誕生から現在までの動き及び今後の課題」を運営委員会の植田先生及び荒木先生にお話しいただいた内容をまとめるとともに、アザレアネットの最近の取り組みについて紹介しています。ご一読いただければ幸いです。

くるめ診療情報ネットワーク協議会 会長 田中二三郎

## 1 アザレアネット講演会・勉強会を開催しました

浮羽医師会のご協力のもと、平成27年6月に浮羽医師会館において、聖マリア病院の荒木先生を講師として、アザレアネット講演会を開催いたしました。講演終了後は、会場からは多くの質問が寄せられております。



また、9月には、本年度より閲覧施設として参加いただきました田主丸中央病院において、アザレアネットに関する勉強会が開催され、荒木先生が講演を行いました。協議会では、アザレアネットに関する学習会に講師を派遣しておりますので、アザレアネット協議会事務局(久留米医師会内: 電話0942-34-4163)までお問い合わせ下さい。

## 2 現在の参加医療機関及び登録患者数の状況(平成28年3月1日現在)

参加施設数120(設立時43施設), 登録患者数7,160人(設立時1,180人)

### 3 アザレアネット誕生から現在まで

平成24年8月に誕生したアザレアネットですが、すでに3年が経過しております。今回、アザレアネット運営委員会座長の植田先生と委員の荒木先生に、「アザレアネットの誕生から現在まで及び今後の課題」について、お話をいただきました。



久留米医師会理事  
植田泌尿器科 院長  
植田 省吾

#### ◆久留米保健医療圏の特徴として…

◎植田先生：アザレアネットは久留米保健医療圏を主なエリアとしていますが、その中心となる久留米市は、3次医療機関である久留米大学病院や聖マリア病院、新古賀病院をはじめとした急性期病院など、高度な技術を有する医療機関が数多く立地するとともに、人口10万人当たりの医師数は、政令市・中核市で第1位という、非常に多くの医療資源に恵まれた「医療のまち」です。また、南部の八女・筑後保健医療圏や隣接する佐賀県からの患者さんの受診が多いことも特徴の1つです。

#### ◆各病院独自の取り組みが進むも、利用者視点に立った取り組みに転換

- |           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| ・従前       | 各病院での独自の取り組み                |
| ・平成23年8月  | 聖マリア病院及び嶋田病院による情報開示がスタート    |
| ・平成23年12月 | くるめ診療情報ネットワーク協議会設立準備会設立     |
| ・平成24年6月  | 天神会（新古賀病院ほか2施設）が情報開示スタート    |
| ・平成24年8月  | くるめ診療情報ネットワーク協議会（アザレアネット）誕生 |

○荒木先生：以前より久留米保健医療圏では、新古賀病院において独自の画像情報開示と予約システムが運用されていました。また、聖マリア病院や嶋田病院でも各々独自に診療情報開示に向けた検討が進められていました。ところがこのままでは、ユーザであるクリニック医師は各々のシステムを使い分ける必要があります。ログインID・パスワードも操作体系も各々で異なり、負荷がかかりますので、病院からクリニック側に説明があった段階で、機種統一の要望が出されました。そこで、当時（も今も）シェアトップで高機能・先進性で評価の高かったID-Linkを選定して、地域内で共通基盤構築の提案を行い、久留米大学等の賛同を得ました。そして久留米医師会との協議により、病病連携から試行を行うこととし、平成23年8月から聖マリア病院、嶋田病院を情報開示病院とした取り組み（IKI-IKIネットワーク：アザレアネットの前身）がスタートしました。



聖マリア病院  
医療情報部長  
荒木 昭輝



### ◆利用者視点に立った取り組みにすべき…

◎植田先生：久留米保健医療圏における診療情報ネットワークの安定的運用を目指し、運用ルールの一元化等に向けた組織を立ち上げるため、医師会、中核病院、久留米市において構成する「くるめ診療情報ネットワーク協議会設立準備会」を平成23年12月に設置しました。その後、新古賀病院も開示病院として参加し、平成24年8月に、医師会、久留米大学病院、聖マリア病院、新古賀病院、嶋田病院、久留米市で構成する「くるめ診療情報ネットワーク協議会（アザレアネット）」を設立したところです。

### ◆利用しやすい、持続可能なネットワークづくりを…

◎植田先生：アザレアネットに参加する久留米、浮羽、小郡三井、大川三潞の医師会会員の方々は、閲覧会員に加入されれば無料で利用できる（医師会において会費を一括納入済み）ようにするなど、参加しやすい形を採用していますので、未加入の先生方にはご参加を検討いただければと思います。

◎荒木先生：アザレアネットの大きな特徴としまして、補助金に頼らない、持続可能なネットワークづくりに努めています。具体的には、協議会の運営経費には久留米市の補助金がありますが、サーバー設置やメンテナンス経費等は情報開示施設が負担しています。

### ◆医療圏域を超えたネットワークづくりに努めて…

◎荒木先生：平成25年度に佐賀県診療録地域連携システム（ピカピカリンク）、八女筑後医療情報ネットワークと連携し、全国でも珍しい医療圏域を超えたネットワークに成長しました。久留米保健医療圏以外からの参加が約半数となっています。

◎植田先生：5施設でスタートした情報開示施設でしたが、現在は久留米大学病院や聖マリアヘルスケアセンターも参加されています。

### ◆とびうめネットとのすみわけについて…

◎荒木先生：とびうめネットはかかりつけ医である開業医の先生方の情報、アザレアネットは主に急性期病院の医療機関の情報を取り扱っており、相補的です。

◎植田先生：双方共に患者さんにとってメリットのある取り組みであり、お互いに共存できるものと考えています。

### ◆今後の課題について…

◎荒木先生：より一層の地域に根ざした診療情報開示ネットワークを目指すため、情報開示施設及び閲覧施設ともに、更なる参加をお願いしたいと考えています。そのような中で、登録患者数も増加するものと考えています。

◎荒木先生：アザレアネットは病病連携、病診連携を想定していますが、地域包括ケアシステムにおけるICTツールとして、アザレアネットの役割をどのように位置付けるかという点を整理する必要があります。さらに、県医師会による「とびうめネット」において、多職種連携に向けたツールの提供も予定されておりますので、併せて十分な検討が必要と考えています。

◎植田先生：アザレアネットは、医療関係者の認知度は高いのですが、久留米保健医療圏における住民の認知度は低いと思います。医療機関を中心に広報を行ってきましたが、今後は行政と連携を行い、住民への周知も図ってまいりたいと考えています。



## 4 アザレアネットが久留米広域連携中枢都市圏事業に採択されました

国が進める地方創生の一環として、久留米市を拠点とし、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の周辺市町が協力して地域振興を図る「久留米広域連携中枢都市圏」の協定締結が平成28年2月に行われました。この連携中枢都市圏では5カ年間の実施計画を策定しており、その事業の1つとしてアザレアネットが採択されています。

アザレアネット協議会には、久留米保健医療圏における全ての医師会が参加しておりますが、行政の参加は久留米市だけでした。これを契機として、今後は連携中枢都市圏事業として、アザレアネットの住民への周知広報等に各市町と連携して取り組んでまいります。

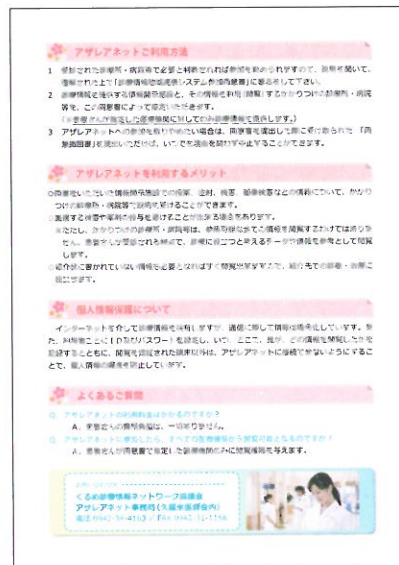
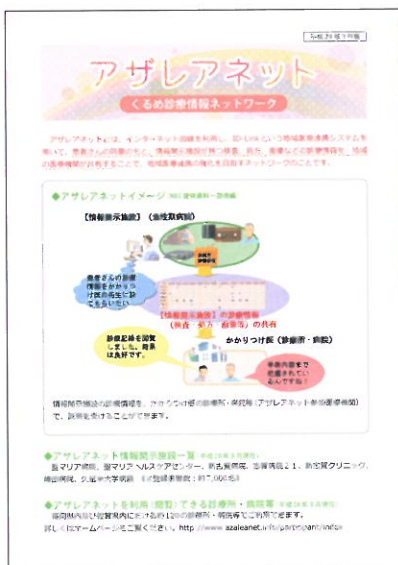
なお、久留米広域連携中枢都市圏については、久留米市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1080shisei/2090gappei/3010gyousei/renkeityusuu.html>

## 5 アザレアネットの案内チラシを作成しました

アザレアネットでは、医療関係者向けの案内チラシは作成していましたが、患者さん向けには同意書取得時に配布する案内文のみでした。そこで、医療機関や行政の窓口など、アザレアネットを広く患者さんや住民の方々にご案内できるように、案内チラシを作成しましたので、お知らせします。

なお、必要枚数をご連絡いただければ、速やかに事務局から送付いたしますので、より一層のアザレアネットの周知にご協力ください。よろしくお願いいたします。



### ※アザレアネット情報開示施設一覧(平成28年3月現在)

|         | 担当課       | 電話(0942) | 備考                |
|---------|-----------|----------|-------------------|
| 聖マリア病院  | 医療連携患者支援部 | 34-3453  | 聖マリアヘルスケアセンター含む   |
| 新古賀病院   | 地域医療連携室   | 38-2292  | 古賀病院21、新古賀クリニック含む |
| 嶋田病院    | 地域医療連携室   | 72-2253  |                   |
| 久留米大学病院 | 医療連携センター  | 31-7637  |                   |

発行者：くるめ診療情報ネットワーク(アザレアネット)協議会事務局  
 住所：久留米市櫛原町45 久留米医師会事務局内  
 TEL：0942-34-4163 FAX：0942-31-1156  
<http://www.azaleanet.info/>